

体協だより

第41号

平成30年11月25日

第36回 富山県駅伝競走大会



壮行式

午前7時、選手はもちろん、関係者や見送りの人々も福野庁舎前での壮行式に緊張の表情で参加。昨年の順位がプレッシャーをかけているか・・・。

スタート～ゴール

県庁前11時、石井知事のスタート合図で飛び出して行く選手。途中経過をラジオの実況放送を聴きながら無事ゴールしてくれることを祈って待ちます。サポート隊から、南砺市チームの途中経過が伝わってきます。9位-8位-10位・・・4位-5位。4位でゴール！よく走ってくれました。



大会を終えて

一人ひとりが全力で走り、満足した表情で県庁に戻って来てくれました。今年も選手選考に悩みましたが、どうにか36回大会を終えることができました。その中に、中学生から17回も連続出場している選手や、3年前に子供と共にランニングをしたことがきっかけで、40歳を過ぎて駅伝デビューを果たしたお母さんもおられます。南砺市選手の能力(質)の高さをつくづく感じた一日でした。来年に向け新たな仲間と練習できることを楽しみにしています。関係者の皆様に感謝!!



【男子選手】

部門	選手氏名	学校名・所属
高校(一般)	高瀬 裕行	自営業
	山崎 崇史	山崎木工(株)
	柴田 太志	(株)タカギセイコー
	山崎 奏空	高岡高校
	長尾 大輝	高岡向陵高校
	高下 陽向	高岡向陵高校
	稲塚 大祐	高岡向陵高校
中学	石田 悠真	城端中学校
	石崎 快軌	城端中学校
	山本 雅也	城端中学校
	藤本 優生	福光中学校
	井口 長洋	吉江中学校

【女子選手】

部門	選手氏名	学校名・所属
高校(一般)	山岸 陽子	南砺市商工会 井波事務所
	岡本千恵乃	湖南工業(株)
	大塚 明美	星陵高校
	山下 知恵	高岡高校
	稲塚 麻衣	南砺平高校
	百島 夢叶	南砺福光高校
中学	宮崎 美樹	平中学校
	三島 柚乃	城端中学校
	山本菜由子	城端中学校
	湯浅 彩夢	福光中学校
	宇野 百花	吉江中学校

富山県小学生駅伝競走大会

今年も『富山県小学生駅伝競走大会』が、富山県駅伝競走大会と同日に開催されました。この大会は、富山県庁前をスタート・ゴールとし、県内12郡市対抗で競いました。小学5・6年生でチームを編成し、男女交互に10名が県庁周辺900mのコースでタスキをつなぎました。また、サポート選手による友好レースも行われ、これまでの練習の成果を発揮しました。

小学生チームは、9月に2回の選考会を開き、そのときのタイムをもとに14名の選手を選出し、10月から南砺市チームとして練習を重ねてきました。はじめは仲良く話をするのもあまりなかったようですが、練習を重ねるごとにチームワークが高まってきました。

大会当日は、走り終えた選手が、これから走る選手のために沿道に駆けつけたり、友好レースに出場するサポート選手に大きな声援を送ったりしました。レースの後には、「これからもあきらめずにがんばりたい」「来年は選手として走りたい」など、一人一人が“次につながるきっかけ”を得られた大会だったのではないかと思います。

「チームNANTO」の活躍が、これからも楽しみです。



【男子選手】

氏名	小学校名
渡辺 佑希	福光南部小学校
岡本 悠汰	福野小学校
松 隼太郎	福野小学校
池田 光佑	福野小学校
北島駿乃介	福光中部小学校
三島 大橙	城端小学校
林 一心	井波小学校

【女子選手】

氏名	小学校名
湯浅 咲渚	福光中部小学校
松井 麻葉	福光中部小学校
中島 喜愛	城端小学校
中川 紗来	城端小学校
林 咲花	城端小学校
上野 香晴	井波小学校
安田菜々花	福野小学校

平成30年度 なんと スポーツ講演会 開催!



テーマ

～心で走る～

9月30日(日)福野文化創造センターヘリオスにおいて、元マラソンランナー瀬古利彦さんによるスポーツ講演会を開催しました。瀬古さんは、現役時代は「修行僧」とあだ名されるほどストイックに練習に打ち込まれたということです。講演では、ライバルとは一線を置いて、自分の素顔を見せない、つまり仲良くしゃべったりしないものだと言われました。また、今ライバルはどんな練習をしているだろうかと、常にライバルを意識しながら自分を追い込む練習を積んできたこと、軽妙な語り口で聴衆を楽しませていただきました。

なお、南砺市出身の永井選手が瀬古さんが率いる実業団チームに所属し、現在活躍しておられます。

第30回 たいらクロスカントリー大会開催



8月19日(日)第30回たいらクロスカントリー大会が、483名の選手が参加し、盛大に開催されました。2020年2月に開催される冬季国体スキー競技会に向けてのコース改修工事が始まり、今大会のコースを変更する可能性があったため、選手の皆さんにはご心配をおかけしました。しかし、請負業者のご協力もあり、昨年と同じコースを利用しての開催となりました。当日は天候にも恵まれ、各選手はそれぞれのペースで走破できたのではないのでしょうか。来年のコースについては未定ですが、多くの皆さんの参加をお待ちしております。



第24回 多度津町・南砺市福野スポーツ少年団交流会

平成30年7月27日(金)～29日(日)まで、香川県多度津町スポーツ少年団をお迎えし、スポーツ少年団交流会が開催されました。今回は受け入れの年ということで、バレーボール・剣道・柔道・ソフトテニス・卓球・多種目の6団、総勢64名を迎えました。各団ごとに民泊受け入れをし、スポーツ交流を行いました。天候にも恵まれ、思い切りスポーツを楽しみ、終始和んだ雰囲気の良い交流会となりました。



第30回 常滑市・南砺市福光スポーツ少年団交流会

8月18日・19日の両日、常滑市・南砺市スポーツ少年団交流会を開催しました。この事業は、毎年交互にお互いの市を訪れて様々な交流を行っています。平成元年に始まった交流会も今回で30回を数え、記念式典も開催しました。

記念式典では、両市本部長と来賓各位から挨拶いただき、記念アトラクションとして、福光スポーツクラブの杖道教室受講生より模範演技をしていただきました。

式典の後は、サッカーと剣道のスポーツ交流を各会場に分かれて行いました。スポーツ交流の後は、今回の交流の目玉でもあるコテージ宿泊交流を行いました。両市の団員と一緒に宿泊することは初めての取り組みでしたが、なごやかに話をしたり、トランプやUNOなどカードゲームで楽しく交流していました。

次の日は五箇山を訪れ、たいらマウンテンスクールでもちつき体験、和紙の里で和紙作り体験を行い、昼食後、世界遺産菅沼合掌造り集落の見学をしました。和紙作り体験では、初めてという団員が多く、綺麗な和紙を作ろうと真剣に紙漉きに挑戦していました。



交流後、解散式では両市の団員で記念品交換等を行い、ハイタッチをして最後はバスに手を振って常滑市団員を見送りました。バスが見えなくなると少し寂しい表情をしている団員もあり、2日間楽しく交流できたと感じることができました。

来年は、南砺市の団員が常滑市を訪れます。

金沢市・南砺市スポーツ少年団交流会

11月11日(日)吉江中学校体育館卓球場において、金沢市・南砺市スポーツ少年団交流会を行いました。

今回の交流種目は卓球ということで、南砺市からは「福光卓球スポーツ少年団」、金沢市からは「米泉卓球スポーツ少年団」「エンデバーメイトスポーツ少年団」が参加しました。

午前中は、男女別に中学生、5・6年生の部と3・4年生の部に分かれて、リーグ戦、決勝トーナメントを行いました。両市の卓球のレベルが非常に高く、各コートで白熱した試合が行われました。

試合終了後、福光中央会館に徒歩で移動し、昼食後、午後からはビンゴ大会、名刺交換会など両市の団員交流を行いました。名刺交換会では、少し恥ずかしがりながらも、自己紹介をして楽しくお互いの名刺を交換していました。

楽しい交流もあつと言う間に終わり、最後は全員でバスに手を振りお見送りをして全ての交流日程を終了しました。

来年は、金沢市を訪れて卓球交流を行います。



救急講習会開催



11月14日、南砺消防署において救急講習会を開催しました。救急救命士の指導の下、倒れている人の発見から、周囲への援助呼びかけ、救急連絡の依頼、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使用までを模擬体験しました。時間の経過と共に救命の可能性が急激に下がり、その場に居合わせた人のいち早い救命処置が大変重要ということです。とっさの時に迅速かつ適切に行動できるよう、受講者は真剣に取り組んでいました。



第23回 東日本綱引選手権大会 優勝



平成30年10月14日に群馬県前橋市にて開催された、第23回東日本綱引選手権大会において城端綱引クラブが優勝しました。今回で8度目の優勝となります。来年3月に行われる全日本選手権大会の出場権を獲得しました。

今後とも応援よろしくお願ひします。



第73回国民体育大会

「福井しあわせ元気国体」

- 少年男子 高岡商業高等学校
ソフトテニス競技 男子
尾山 仁哉 8位
- 少年女子 高岡南高等学校
円盤投げ 女子
草塩 はな 8位
- 成年男子 北陸銀行(株)
ライフル射撃競技 男子
長谷川智彦 5位
- 成年女子 (株)ヨシケイ富山
ライフル射撃競技 女子
久保 結子 4位
- 成年男子
綱引き競技(公開) 男子
城端綱引きクラブ 3位



編集後記

編集に当たり、毎回各種競技の上位者を見るたび、頼もしく思っています。昔は実業団の全国大会を一度経験しましたが、レベルが高く…後悔のみ。今は4人の孫の成長を楽しみに、スポーツ施設への送迎を週3回、また、冬場はスキースキーのレーシングの練習に付き添い後方支援。どの種目でも家族の応援が一番大切です。広報の紙面に写真や名前を載せられるよう、お互いに頑張りましょう。(MS)

各種目協会のみなさんへ ホームページを活用して下さい。